

平成29年度 学校評価計画

小美玉市立玉里小学校 校長 額賀 博

1 学校教育目標

自ら学び、豊かな心と健康な身体をもち、たくましく生きる児童の育成

2 目指す学校像、児童・生徒像、教師像

学校像	<ul style="list-style-type: none">○ 笑顔あふれる学校○ 活力のある学校○ 応援される学校
児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none">○ 自分から進んで学ぶ子○ ありがとうがもらえる子○ 健康で体力のある子
教師像	<ul style="list-style-type: none">○ 子どもを愛し一人一人を大切にする教師○ 研鑽に励み指導力を向上させる教師○ 保護者や地域に尊敬され信頼される教師

3 学校の現状

- 児童数198名，1，3年生以外は単学級である。不登校0，毎日の欠席者も少なく児童は明るく元気である。しかし，発達障害の疑われる児童の増加傾向にある。話を静かに聴くなどの規律を身に付けることが学校全体の課題となっている。
- 小学校理科モデル授業の指定を受け，中学校理科免許を持つ教師が3～6年生の理科の授業をTTで実践し，理科教育の充実を図っている。
- 児童の体力向上に向け，授業の充実を図るとともに，毎週月の「朝の運動（トレーニング）」や朝，業間，昼休みの運動を継続実施している。
- 地域3団体との連携による「読み聞かせ」をはじめ，地域の教育力やボランティアを学校行事や授業に積極的に活用している。

4 前年度の成果と課題

- アクティブラーニング導入に向けて授業研究の機会を充実し，福井大学大学院准教授小林和雄先生を4回にわけて招聘し校内研修を重ね，学習形態や授業展開の工夫改善を行ってきた。今年度はその実践力を高め，児童が友達と考えを交流し合いながら学ぶ楽しさを味わえるように研修を深めていきたい。
- 基礎・基本の定着に向けて，朝の学力アップの時間の活用，月例テストの実施により全学年概ね目標値は達成した。学習規律及び家庭学習の定着に重点を置き，自ら学ぶ態度の育成に取り組んでいく。
- 不登校0，欠席0の日22日（29年2月現在）と元気に児童は学校生活を送ることができた。特別支援専門家派遣事業を導入し，発達障害への理解とその支援の在り方について土浦特別支援コーディネーター，茨城キリスト教大学助教を招聘し6回の研修を実施した。児童理解と積極的な生徒指導の在り方を検討しながら児童の主体性を育み，思いやりのある児童の育成をさらに図りたい。
- 地域の教育力や学校支援ボランティアを積極的に活用してきた。さらに，体験や地域の方とふれあい，地域の良さを児童が実感できるよう地域の教育力を教育活動に生かしていきたい。

5 組織目標

番号	内 容	実施期間			
		29			
1	夢に向かう，かしこく・やさしく・たくましい児童を育てる	○			

平成29年度 学校自己評価書

小美玉市立玉里小学校 校長 額賀 博

1 今年度の取り組みの概要

学力と社会性を育てるために、「学びの共同体」としての学校づくりを取り入れ、「チーム玉里」として研修を積み、生徒指導・授業改善を核とした学校改革を実現する。

- ・聴く態度の育成
- ・学級経営の重視
- ・質の高い授業づくり（主体的・対話的で深い学び）を努力事項の中心軸に据える。

<達成度 A：十分に達成 B：おおむね達成 C：達成せず D：課題が残る>

◎ 組織目標 1 についての具体的な取り組み

組織目標 1	夢に向かう、かしこく・やさしく・たくましい児童を育てる		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
「学び合い」を取り入れた授業づくりを通して、人間関係づくりと確かな学力の定着を図る。 ・授業が楽しいと感じる児童90%以上 ・学習の決まりを守って学習できる児童90%以上 ・自分の考えをまとめ、友達に伝えられる児童80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・聴く態度の育成に重点を置き、ねらいを押さえた「分かる授業」を実践する。 ・教員全員が授業研究を実践、互いに研修を深め授業改善に取り組む。 ・ペア学習、グループ学習を取り入れた学び合う態度を育成する。 ・「分からないから教えて」といえる安心できる柔らかなクラスの雰囲気作りに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業が楽しいと感じる児童81% ○学習の決まりを守って学習できる児童80% ○自分の考えをまとめ、友達に伝えられる児童69% ・講師を迎えて校内授業研究会を3回実施した。また、小学校理科モデル校及び市教育研究会指定研究校として公開授業を実施し研修を深めた。 ▲児童が主体的に学びに向かう授業の改善には、学習規律の定着化も含め、さらに工夫改善が必要である。 	B
豊かな心を持ち、自主的、自発的な活動に取り組む児童を育成する。 ・学校が楽しいと感じる児童90%以上 ・自分から進んで挨拶ができる児童80%以上 ・生活目標を自覚して生活する児童80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・「褒める・認める・任せる」場を多く設定し、やる気のエネルギーを与える。 ・委員会、縦割り班活動など児童主体の活動を活性化し、豊かな人間関係の醸成を図る。 ・教育相談の実施と活用 ・月1回のSST 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校が楽しいと思う。児童84%保護者92% ○自分から進んであいさつができる。児童86%保護者88% ○生活目標を自覚して生活児童84% ○集団生活のきまりを守る保護者89% ・2学期から「宝物ファイル」を全学年で実施し、自己肯定感の高揚に努めた。 ▲生活目標は自覚できていても実践につながらない状況も見られるので、委員会の児童の活用を図り実践に繋がりたい。 	B
健康で体力のある児童を育成する。 ・体力テストA+B=70% ・元気に外遊びをする児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や業間運動・年間を通じた体力づくりを推進する。 ・外部講師や実践事例を活用した質の高い体育の授業づ 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力テストA+B=69.7% ○学校は、「健康で体力のある子」をめざし、積極的に取り組んでいる。 	A

<p>・歯科受診率70%を目指す。</p>	<p>くりに取り組む。 ・健康・安全・食育等の計画的な指導と日常的な実践指導を行う。</p>	<p>保護者97% ○元気に外遊びをする。児童92%、保護者90% ○毎食後歯みがきをしている児童90% ○歯科受診率 57.3% ○欠席0 16日 ○不登校 0 ・教師の働きかけで多くの児童が外遊びや朝マラソンに取り組んでいる。また、雨や雪でも歩いて登下校する児童が多く健康な体づくりにつながっている。 朝食を食べてこないことがある児童が数人見られ、固定化しつつある。家庭への働きかけを継続し協力を促していきたい。</p>
-----------------------	--	--

2 今年度の成果と次年度に向けた課題

- 今年度は組織目標「夢に向かう かしこく やさしく たくましい児童を育てる」にしぼり、「学びの共同体」としての学校づくりを目指して取り組んできた。対策の1つとして、学校を開放していつでも保護者が来校できて、児童の様子や授業の様子を参観できるようにしてきたことは、保護者の理解や協力を得ることに有効であった。（保護者アンケートの1学期の評価より2学期の評価の方が全体的に高くなっている。例 保護者、地域との連携92%→94%、適切な対応88%→91%）
- ペアやグループ活動を取り入れた学びの場は、児童の温かい関係を育み互いに学び合う集団へと成長させていくようすが見えてきた。さらに、研修を深め授業改善に取り組んでいきたい。
- 学校支援ボランティアとして多くの保護者の方々が教育活動に協力してくださった。また、新ひたち野J A、社会福祉協議会、読み聞かせ、リーコーダー演奏グループなど多くの地域の団体の方にご支援いただくことができた。昨年度よりも学校支援の輪が広がり、地域の教育力を生かした教育活動が展開できた。
- 児童アンケートや保護者アンケートから多くの児童は生活のきまりを守って集団生活を送ることができていることが分かる。しかし、うまく感情がコントロールできずにトラブルになったり、話を聴くことができなかつたりと個別の支援を必要とする児童への適切な関わりが課題となっている。保護者やS S W、専門機関との連携をさらに強化し、学級集団が落ち着いて学習課題に取り組めるようにチーム玉里小として児童理解に努め課題改善に努めていきたい。
- 今年度玉里学区小小連携の合同遠足や小小・小中連携の避難訓練、コンプライアンス研修会などを実施した。統合に向けてさらに連携を深めていきたい。

3 保護者や地域への皆様へ

- 地域の皆様には、学校行事へのご協力をはじめ、登下校の見守り、毎週の読み聞かせなど、お世話になりありがとうございます。玉里学区コミュニティの活動にも児童が参加し、地域の皆様との繋がりをもてるようにご支援いただき感謝しております。玉里小合唱団や玉里小よさこいソーランの発表の場ではたくさんのお褒めの言葉をかけていただき、児童の自信を高めるとともに、もっと頑張ろうとするエネルギー源になっております。玉里小学校では、「学びの共同体」として地域の教育力をさらに学校に取り込んで、子ども達に魅力ある教育活動を展開していきたいと考えております。今後も温かいご支援ご協力をお願いいたします。
- 保護者の皆様には、多大なるご支援・ご協力をいただきありがとうございました。ご都合を付けて日常的に子ども達の様子を参観いただき、ご意見・ご協力いただいたことに感謝申し上げます。来年度から道徳が教科となって位置付けられたり、5、6年生に外国語が教科として位置付けられたりと教育課程が大きく変わっていきます。学校全体で子ども達が安心して学べる環境作りに努めていきたいと考えております。どうぞ、今後も学校に足を運んでいただきご支援・ご協力をお願いいたします。



